

平成14年度第1回岡山市総合政策審議会都市・交通部会の主な意見

- 1 日時 平成14年5月30日(木)午後1時31分～3時28分
- 2 場所 ほっとプラザ大供2階第2研修室
- 3 出席者 委員14名中10名出席
(内田委員、加原委員、高田委員、村上委員欠席)
岡山市：山内都市整備局長、広瀬まちづくり担当局長、高橋局次長、
池上都市開発部長、青木公園緑地部長、小寺土木部長、
青山西部新拠点まちづくり推進本部長 ほか
事務局：高橋参事 ほか
- 4 傍聴者 1名
- 5 会議概要
(1) 委嘱書の交付
(2) 部会長に千葉委員、副部会長に小嶋委員を選出
(3) 傍聴の許可
(4) 議題の説明、質疑応答及び事務連絡
- 6 主な意見

自転車等放置禁止区域の新設について

- 警告札取付け後、撤去まで3時間以上経過しなければならないというのは、少し時間が長いのではないか。
- 放置禁止区域の表示をわかりやすくするため、さらに工夫が必要ではないか。
- 松山市では、中高年の女性が笑顔で駐輪場へ誘導することなどによって、放置対策に効果をあげている。禁止と罰則との間を、こまめな活動でカバーしていったらどうか。
- 自転車はどこにでも置いてよいという認識をもった人がいる。まずは、公共の場所に自分のものを置くことがルール違反であるという認識をより多くの人にもってもらう必要がある。
- 放置禁止区域以外に放置されている自転車のうち、誰が見てもごみと思われるものについては、ごみとして対処していくべきだ。
- 放置台数が非常に多い表町周辺も放置禁止区域に指定するよう検討してほしい。
- 撤去を行う日時等を予告するなど、制度の運用を柔軟に行うことはできないか。
- 撤去自転車の処分にかかる法的問題については、よく検討をされたい。

岡山市開発行為の許可基準等に関する条例の一部改正について

(特に意見無し)

岡山市オムニバスタウン計画策定について

- 岡山市のためになることは、中央省庁等に対して、岡山市固有の事情等を含めて大いに主張してほしい。
- ノーマライゼーションの観点から、ノンステップバスの台数をもう少し増やせないだろうか。
- 車体に描かれた広告のなかには、びっくりするようなものも見受けられるが、一般の人々からの評価はどのようなだろうか。
- バスについて一番優先されなければならない課題は、使いやすく、わかりやすい交通手段にするということである。